



写真提供

電力中央研究所に新鋭水理研究施設誕生

株式会社 大林組

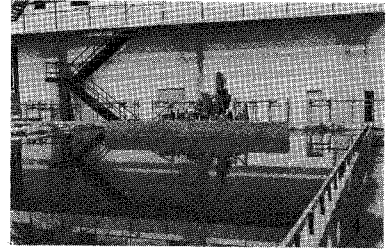
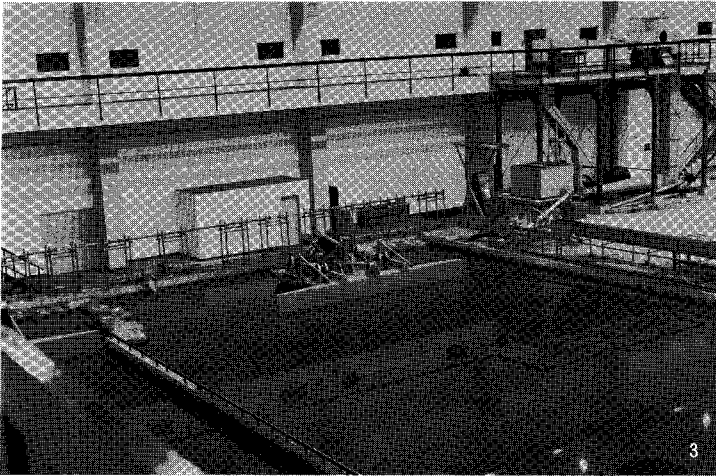


このたび完成をみた水理研究施設は、
わが国初の本格的な水理研究施設で、今
後の成果が期待されるものである。

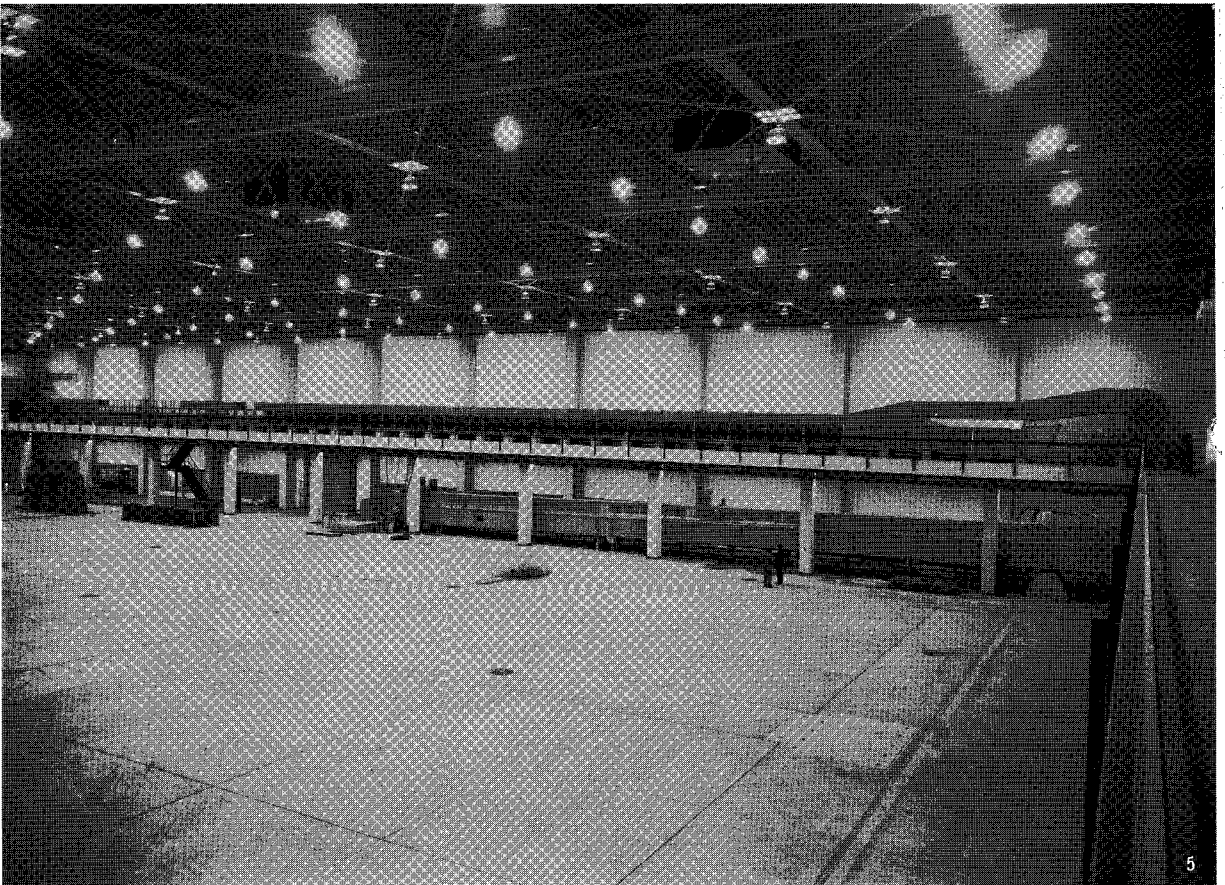
(本文ニュース欄参照)

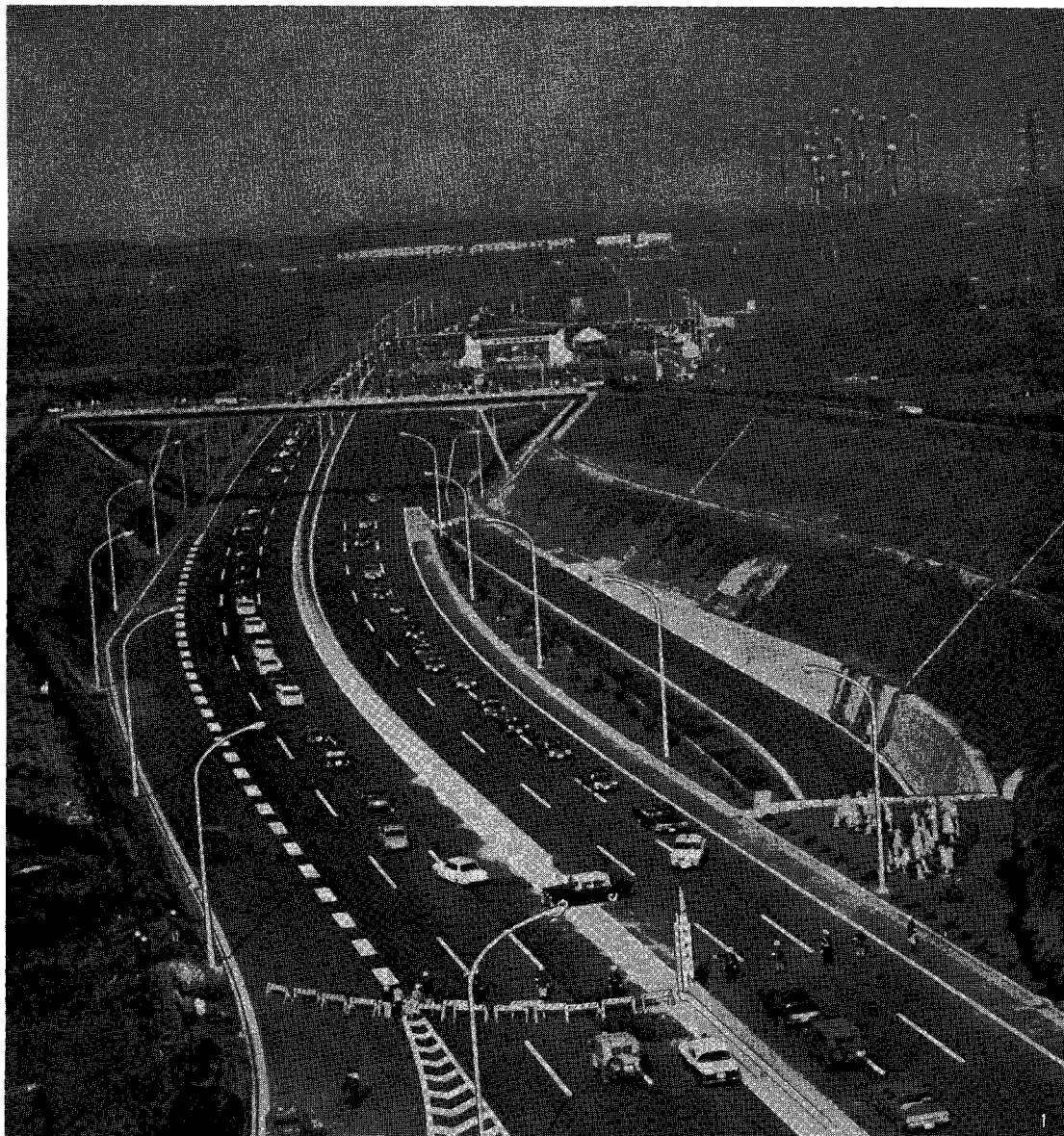
写真説明

- 1 水理実験棟(手前)と実験棟
- 2 研究施設全景、左側が屋外試験場
- 3 左側平面造波装置と右側キャビテーション試験装置
- 4 平面造波装置近景
- 5 水理実験棟内全景、中段に設置されている機器が風洞つき造波水路、その下に設置されているのは流砂実験用回流水路



写真提供 電力中央研究所技術研究所



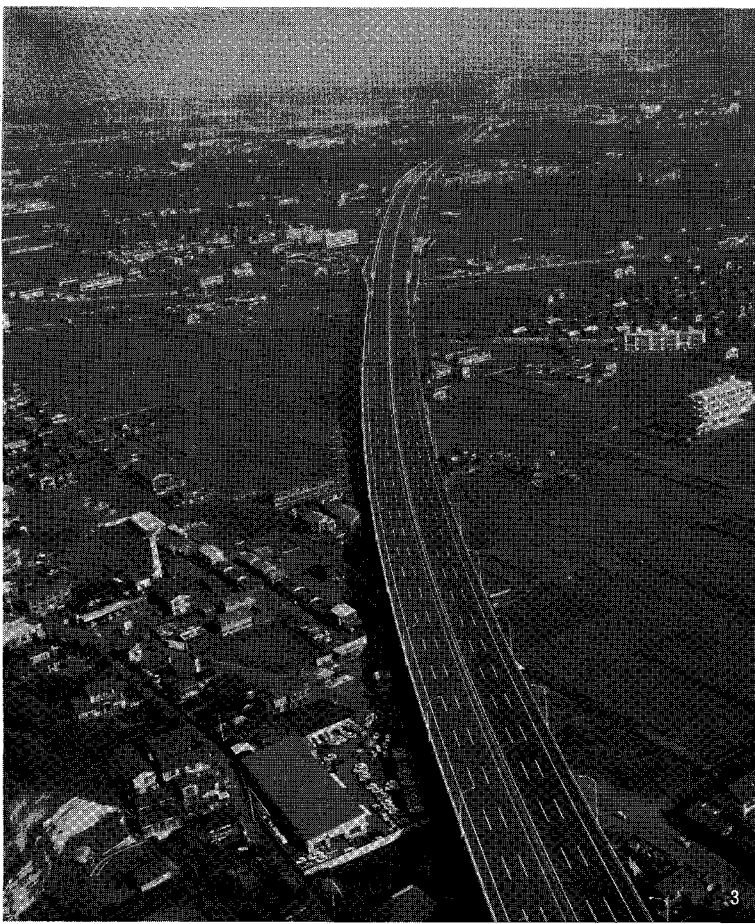


第三京浜道路開通

日本道路公団が昭和 34 年調査開始以来その開通に全力を注いできた第三京浜道路がこのほど完成、供用を開始した。

(本文ニュース欄参照)



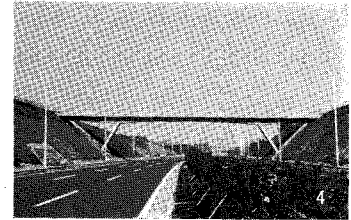


写真説明

- 1 開通式パレード風景
- 2 保土ヶ谷料金所
- 3 6車線の違谷を誇る美事な線形
- 4 中央分離帯とオーバーブリッジの美観
- 5 港北インターチェンジ

写真提供

- 1 朝日新聞社
- 2~5 日本道路公団



阪神高速道路 大阪1号線〈梅田～道頓堀〉間開通

順調な展開をみせている阪神高速道路公団の事業のうち、大阪1号線の既開通部分（湊町～出入橋間）に加えて、今回梅田～道頓堀間5kmが完成供用を開始することとなり、さる12月11日瀬戸山建設大臣を迎えて開通式を挙行、引き続き同月12日より供用を開始した。

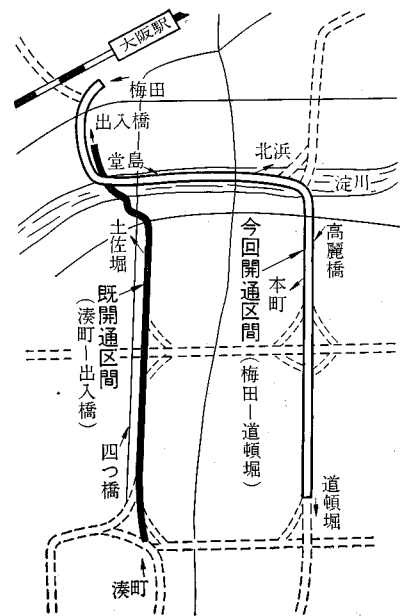




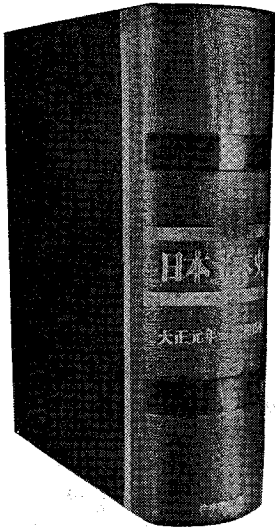
写真説明

- 1 開通式パレード風景
- 2 ゆるやかな曲線を描く中之島付近の高速道路
- 3 前方に大阪城と生駒山を望む堂島付近の高速道路
- 4 堂島川右岸をゆく高速道路

開通区間位置図



好評発売中！



日本土木史

—大正元年～昭和15年—

土木学会編

日本土木史編集委員会がその総力を結集して企画編集にあたった日本土木史（大正元年～昭和15年）が完成しました。

本書は、昭和11年に刊行した「明治以前日本土木史」および「明治工業史土木編」の続編として刊行したもので、大正元年から昭和15年までの30年間の土木の歴史を20項目にまとめ、前の土木史ではふれられなかった、軍事土木や建設機械をはじめ水理学、応用力学、土性・土質力学、測量、土木材料、コンクリート、土木教育、学協会史などの新項目をとり入れ、総ページは1770ページ、図410葉、表500点、写真150枚を数えるぼう大なもので執筆にあたった方は180余名です。

本書はただ単に日本の土木の歴史書ではなく、今後何度も開かれなければならない生きた資料集成です。図書館・学校・各会社にはぜひ備えておかなければならない本ですのでご希望の方は学会へお申込み下さい。

体裁：B5判 8ポ横一段組み 本文1770ページ 図410葉、表500点、
写真150枚余 上製箱入革製豪華製本

定価：12000円（個人会員に限り割引特価あり。詳細はお問合わせ下さい）

送料学会負担

内容見本申込次第送付

(TEL 351・5130 編集課直通)

—◀申込先▶ 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目
振替 東京16828番

工事報告 黒部川第四発電所

関西電力株式会社編

一つの構造物が完成するとそれにたずさわった多くの技術者は新しい職場に散ってゆく。黒部第四ダムが完成してから3年、黒四ダムはその美しい姿を湖面にたたえ観光地として脚光をあびている。ここを訪れる何人が土木技術者の苦労を想い浮かべるだろうか。

われわれの仲間が総力をあげてつくりあげた世界に誇る黒四ダム……この黒四ダムの編集作業がいま土木学会ですすめられています。

この報告書では黒部川電源開発の歴史から筆をおこし、計画、設計、施工設備、施工、人員と工事費、関連工事、特殊研究など、黒四ダム工事に関連するすべての事項を網羅してありますので、ただ黒四ダムの工事誌のみとしてではなく、これから行なわれるあらゆる土木工事の参考資料となるものと確信しご一読をおすすめします。

体裁：B5判 1400 ページ予定

予価：10 000 円

予約受付中

41年3月刊

新潟地震震害調査報告

土木学会新潟震災調査委員会編

昭和39年6月16日、突如新潟市を襲った地震は多くの災害をもたらした。今から43年前東京を襲った関東大震災とは別な意味で砂地盤の流動化という特異現象がもたらした災害として大きく浮び上ってきた。

文化がすすみ、人間の生活が高度化するにつれ、その被害には今まで例をみななかったものがある。土木学会では新潟地震の襲来とともにいち早く調査委員会（委員長 岡本舜三教授・東京大学生産技術研究所長）を組織し、被害の調査をはじめ、その全ぼうを地震、土質・地質・地盤、道路、鉄道、河川、橋梁、港湾、衛生工学、農業土木、通信施設、建築、工場災害などの面からとらえ、詳細に記述した。今後の都市計画等の参考資料としてぜひご一読下さい。

体裁：B5判 1200 ページ予定 写真多数

予価：10 000 円

予約受付中

41年3月刊